

2006年1月27日

## 総合研究所における環境整備工事の実施に関するお知らせ

当社は、下記のとおり総合研究所(埼玉県さいたま市大宮区北袋町1-297)における土壌・地下水の浄化等を内容とする環境整備工事を実施することと致しましたので、お知らせ致します。

### 記

#### 1. 本環境整備工事の目的及び内容

当社総合研究所におきましては、平成12年より同研究所内の環境調査を実施した結果、重金属汚染が確認されたことから、これまでに汚染拡散防止を目的とした応急対策工事及び一部区域の浄化対策工事を実施してまいりました。

また、平成11年頃からは、過去の核燃料試験研究に起因する放射性廃棄物の回収を実施(平成17年6月回収・保管を完了)するとともに、並行して同研究所内全域を対象とした放射性物質の有無についての調査を進めてまいりました。既に第1次調査として、建屋などの障害物のない部分については安全上問題のないことが確認されていますが、今後実施する第2次調査においては、同研究所内の使用していない建屋及び同研究所内に仮置きしている土壌の撤去・場外搬出などを行い、当該地下部を調査することとなります。

この度、同研究所全域を対象として、これら重金属汚染に関する恒久浄化対策工事と放射性物質に関する全域調査・対策工事等の環境整備工事を実施することを決定致しました。

同研究所は、さいたま新都心に隣接した区域にあり、予てより行政や地元自治会などから、早期の環境対策実施とともに敷地の再開発についても要望を受けておりましたが、今後は、本工事の実施により、環境整備のみならず、再開発に向けても大きく前進することが期待されます。

#### 2. 本環境整備工事の実施に伴う当社業績影響

本環境整備工事の実施に伴い、当社は平成18年3月期単体及び連結決算において64億円の特別損失の計上を行う予定であります。当期の業績予想には織り込み済みであります。

以上